



平成 25 年 5 月 24 日 第 3 巻(第 3 号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害対策委員会 TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail:dsstsw@jaswhs.or.jp

## \*\*\* 目次

1. 現地より～新体制になって～
2. 現地活動年報
3. 現地感想文
4. 災害対策委員会からのお知らせ
5. 事務所感想文

## 「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ」

完成しました！

皆さま、ぜひご購入のうえ

ご覧ください！！

詳細は、

“4. 災害対策委員会のお知らせ”を  
ご参照ください。



## \*\*\* 1. 現地より～新体制になって～ \*\*\*

### \*\*\* 石巻グループワーク第一報

西田知佳子

昨年、秋都内の総合病院を退職しました。その前後に取手さんから何度か災害を手伝ってくださいと言われておりました。時間ができたのだから手伝わなくちゃーと良心は言うのですが、知らない町での運転はできないし、地震は怖いし、パソコンも苦手だし・・・など言い訳ばかりして半年を過ごしました。3月になって、石巻でグループワークをするようにいわれているがどのように始めたらいいか困っているという情報が入りました。グループワークだったら私にもできるかもしれない、とすぐ石巻に常駐している久保田さんにグループワークをさせてほしいと頼み、そして4月に準備をして5月から月2回「引きこもりのお子さんを持つご家族の会」を始めました。第一回の8日、ひとりも参加しなかったらどうしようとドキドキしていましたら時間前に2組見え、なんと一組は引きこもりの当事者も一緒だったのです。当事者を連れてきた母親は、ぜひこの子も参加できる集まりを作ってほしいと訴えました。まさか最初からそういう要求が出てくるとは……。

グループというのは前もって予想することはことごとく外れ、思わぬことが展開するものです。思わぬ出来事にリーダー(スタッフ)がどのように収束させようかと思っているうちにその回のグループは終わります。21年前鈴木純一という集団療法の第一人者から誘われ精神科の外来での集団精神療法に参加して以来、グループの魔力から抜け出せずにいる西田です。これから石巻でどのようにグループは成長していくのだろうか、恐れと不安と期待と楽しみが渦巻いている私の心の中です。



牡鹿半島の国立公園からの風景

— 現地石巻 photo —

\*\*\* 久保木 美由紀

新しい体制になり1か月半が過ぎた。この2年間は住民のニーズに変化がみられた時期で、今後の生活を再建するための基盤を整える時期になっている。3年目を迎え、住民間の復興の差が顕著になりこの差を実際の差よりも大きく感じられ、それが孤独や不安となり精神的、身体的、社会的なニーズとなっている。ニーズが多く、複雑であるほどインフォーマルな支援も含め多職種で関っていかなければならない。そして、役割を終え、石巻から離れることを決めた支援機関もある。住民のニーズと、社会資源がマッチングしているか地域アセスメントを再度することも必要であり、住民が石巻を思う気持ち、暮らし続けたいと思う気持ちに寄りそい、支援することが求められていると感じた。

\*\*\* 石巻市社会福祉協議会地域福祉コーディネーターを支援する

## 地域福祉アドバイザーとして赴任して

富永 千晶(石巻市に出向)

平成25年4月より、石巻市社会福祉協議会 災害対策本部 地域福祉コーディネーター(以後 CSC)のアドバイスを目的として地域福祉アドバイザーとして1年の任期期間の出向として働いています。

そもそも、社会福祉協議会の仕組みも地域福祉についても曖昧な理解のもとでの勤務でしたので不安がありました。しかし、この石巻市社会福祉協議会はこのたびの東日本大震災において災害ボランティアのコーディネート、仮設住宅の支援については迅速かつ的確な組織体制を行うなどの災害対策については新たな試みをしている魅力のあるところです。

この「地域福祉コーディネーター」とは、どんなものかという説明します。

市内複数エリア(仮設住宅を基準として)に地域福祉コーディネーターを配置し、市民の新たな地域づくりや地域福祉活動への総合的支援や災害復興・被災地支援の推進、市や公的サービス機関、ボランティア団体及び NPO 団体と連携した支援。特に急務名事として仮設及びみなし仮設住宅入居者等への訪問支援員による支援。一人暮らし等の高齢者世帯、障害者世帯の孤立防止のための支援。地域再生活動の支援として被災した自治組織と新たな自治組織への支援など多くの課題を調整し支援していくことを目的としている人たちです。災害があったからではなく、以前から地域福祉ソーシャルワーカー(CSW)の必要性があったとのことです。

大きな柱として、

➤ 「守る」=セーフティーネット

仮設住宅や復興住宅など新たな生活圏における要援護者の「見守り・相談・つながり」を促進し、セーフティーネット機能を構築、推進する

➤ 「支える」=活性化とサポート

自治会やボランティアグループなど地域活動の担い手となる住民組織を側面から支え、地域活動組織の活性化を図る。

➤ 「つくる」=企画や設計・実施

制度や視線の狭間にある人が抱える課題解決に向け、新たなインフォーマル支援の構築や担い手を育成する。

➤ 「つなぐ」=コーディネート

様々な課題解決に向けて多様な支援をつなぐとともに、支援者間の連携、つながりの促進を図る。

私の役割は、上記の内容を行うには医療保険福祉分野で援助の視点を、地域福祉などの視点や技術を伝えながら、「協働・連携」機能について1年間一緒に活動しながら早期に地域で活躍できるように支援して行くことが役割とのこと。

まだ、動き出したばかりの事業です。復興に向けて動き出している地域で起きているさまざまな課題を、丁寧に関わりながら「新しいまち」作りやそこに住んでいる人々が「まちを作り上げる」ということ的主人公であるように「絆」という『地縁』を作り上げる小さな一歩に伴走し続けて行けるよう頑張りたいと思います。

### \*\*\* 畑中 良子(石巻市に出向)

3月29日に石巻入り、2ヶ月弱が経ちました。

協会の協力員として2011年7月に来た以来の石巻。それまでは大阪の回復期病院でMSWとして働いておりました。

4月から1週間のうち、石巻市役所内で新設された『虐待防止センター』で精神保健福祉士として3.5日、日本医療社会福祉協会の現地職員として1.5日という勤務体系でお仕事をさせてもらっています。

石巻市では平成25年4月より『児童、障害者、高齢者への虐待、ドメスティック・バイオレンスは、個人の尊厳を著しく侵し、その自立及び社会参加に深刻な影響を与えることから、早期に発見し、適切に対応する必要があることや年々増加する虐待件数や複雑化・重症化する事案に対して対応困難となる場合が多く、即応性に欠ける状況であることから、虐待防止体制の整備を図る目的』で虐待防止センターを設立しました。業務内容は、通報の受理から、個別ケースワーク、ケース会議の調整、各関係機関への連絡や相談、また、関連業務としてカウンセリング事業や成年後見制度も行っております。

新しい部署で、10名中5名がこの4月からの採用です。前職がバラバラで、それぞれの得意分野も異なります。しかし、チームとして、お互いに補い合いながら対応しています。

業務が多岐に渡り、どこに繋ぐやどのように対応するかなどシステムがわからない部分もありますが、基本的には対象者の安全を考え、チームでどのように対応するか、そして、その調整役を担う事には今までやってきた事と変わりはないな、と思いながら取り組んでおります。

虐待防止センターの仕事にも協会の仕事にもまだまだ慣れておらず、何をどうしていいかわからず手探り状態ですが、現地の久保木さん、富永さんに助けをいただきながら何とか進んでいる状況です。本当に周りのみなさんに感謝です。

この地で何ができるか、どこまでできるかはわかりません。しかし、ナニカはできると思い込んでいます!!もちろん、一人だけの力ではありません。全国のみなさん、一緒にナニカをやってみませんか？

## \*\*\* 2. 現地活動年報 \*\*\*

平成 24 年度 日本医療社会福祉協会災害対策本部現地活動年報

### 業務内容)

石巻市 社会福祉士等相談支援事業

活動期間：平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 30 日

現地スタッフ：

(対策副本部長 笹岡 真弓)

現地責任者 武山 ゆかり (平成 25 年 月 日

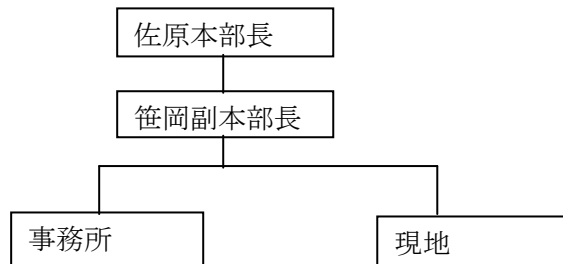
現地責任者 久保木 美由紀 (平成 25 年 6 月 25 日～ )

現地職員 依光 則子 (平成 24 年 4 月 2 日～平成 25 年 2 月 1 日)

現地職員 中辻 康博 (平成 24 年 5 月 23 日～平成 24 年 10 月 20 日)

現地職員 富永 千晶 (平成 25 年 1 月 15 日～ )

### 組織図)



協力員 述べ

石巻：1109 人

本部：251 人

### 業務分担

(現地)

渉外：

石巻市災害復興支援課

石巻市健康推進課

### 業務：

日報報告書作成：現地職員

日報報告：現地職員 (主に、現地責任者)

1 期・2 期ケースフォロー・2 期ケース台帳・業務日誌作成 (現地職員)

### 他機関連携等)

河南支所管内仮設団地ケース検討会議(月一回)

自治会連合会定例会 (月一回)

仮設サロン支援連絡会 (月二回)

\*\*\* 東日本大震災 MSW 災害支援ニュース

石巻市 MSW 事例検討会 運営委員会 (不定期)

運転ボランティア説明会

ケースカンファレンス (牡鹿 2/7、住吉 2/12、大街道 2/13、北上 2/18、稲井・山下 2/22、湊 2/27)

RCI 内部全体報告会 (月一回)、外部向け情報報告会 (月一回)

医療保健・健康ユニット会議 (月一回)

その他研修:

第3回地域ケア他職種共同推進事業研修会 (H25/2/5)

心のケアセンター研修会「認知症の総合アセスメント等について」(H25/2/19)

**実務報告)**

\*相談支援事業

① 相談担当者数 (述ベ) ※現地担当者、協力員

月	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談担当者数	79	79		131	129	91	92	80	90	135	75	104

\*個別援助 実件数 内訳

在宅1期

区分	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H25.1	2月	3月
新規	0	0	0	9	2	4	1	1	3	10	6	0
繰越	340	282	231	179	123	108	88	77	66	61	57	50
合計	340	282	231	188	125	112	89	78	69	71	64	50

在宅2期

区分	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H25.1	2月	3月
新規	0	1	19	18	28	17	17	13	13	1	0	5
繰越	0	0	0	16	26	47	52	60	63	67	67	49
合計	0	1	19	34	54	64	69	73	76	68	67	54

仮設

区分	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H25.1	2月	3月
新規	4	5	2	2	1	0	0	0	1	0	1	1
繰越	5	5	10	11	12	11	11	10	10	7	0	6
合計	9	10	12	13	13	11	11	10	11	7	1	7

\*\*\* 東日本大震災 MSW 災害支援ニュース

② 処理状況

在宅Ⅰ期

区分	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H25.1	2月	3月
終結	58	51	52	57	17	24	12	12	8	13	13	10
継続	282	231	179	131	108	88	77	66	61	57	50	40
合計	340	282	231	188	125	112	89	78	69	70	63	50

在宅Ⅱ期

区分	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H25.1	2月	3月
終結	0	1	3	9	7	12	9	10	9	1	18	13
継続	0	0	16	25	47	52	60	36	67	67	49	36
合計	0	1	19	34	54	63	69	46	76	68	67	49

仮設

区分	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H25.1	2月	3月
終結	3	1	1	0	2	0	1	0	4	1	1	0
継続	10	10	10	12	11	11	10	10	7	6	6	6
合計	13	11	11	12	13	11	11	10	11	7	7	6

③ 新規依頼経路

依頼経路	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H25.1	2月	3月
アセスメント班			16	27	27	20	17	10	16	1	6	3
専門フォロー班 (医療)			0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
専門フォロー班 (介護)			2	0	2	1	0	0	0	1	0	0
専門フォロー班 (こころ)			1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
専門フォロー班 (住宅環境)			0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他			0	2	0	0	1	0	1	8	1	1
合計			19	29	31	21	18	14	17	11	7	6

\*\*\* 東日本大震災 MSW 災害支援ニュース

終結 終了（重複あり）

状況	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H25.1	2月	3月
自立確認			2	5	16	26	11	17	18	13	30	19
包括					0	3	0	0	1	0	0	1
ケアマネ				1	1	2	1	1	0	1	0	1
見守り					0	0	0	0	0	0	0	0
病院 MSW					1	0	0	0	0	0	0	1
保健師				1	2	3	1	1	0	0	1	0
保護課 CW0				2	0	0	1	0	0	0	0	1
情報提供			1		2	2	2	2	0	0	0	0
PSW					0	0	0	0	0	0	0	0
市職員					0	0	0	0	0	0	0	0
他職種 （協議会 内）					3	4	3	2	0	0	0	0
その他					2	2	2	0	2	1	0	0
合計			3	10	27	42	21	23	21	150	31	21

個別援助 述べ件数

月	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H25.1	2月	3月
個別 対応数				349	370	297	276	151	206	135	181	165

個別援助 方法

方法	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H25.1	2月	3月
調整・ 連絡			36	58	39	50	38	8	22	8	0	5
電話相談			189	165	174	136	130	73	104	81	87	84
訪問（利 用者宅）			36	59	121	84	76	65	65	40	80	60
訪問（他 機関）			37	14	21	24	30	3	11	2	8	7
協議			32	53	14	1	0	2	2	2	4	2
文書			10	0	1	0	1	0	1	1	0	2
その他			0	0	0	2	1	0	1	1	2	5
合計			340	349	370	297	276	151	206	135	181	165



個別援助 内容（重複あり）

方法	H24.4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H25.1	2月	3月
医療費等					49	72	37	20	20	4	10	22
生活費					80	101	63	18	27	22	26	32
受診					68	84	73	7	38	13	18	21
在宅介護					25	40	27	10	12	4	16	20
在宅障害					17	12	4	6	14	12	27	11
家族関係					23	22	20	13	20	11	9	13
受容（傾聴）					50	17	15	15	12	16	17	19
心理的社会的					48	30	32	14	17	8	11	20
情報提供					28	86	50	14	12	11	17	13
住居・環境					40	35	37	8	19	7	9	16
就労支援					20	29	31	8	17	7	12	8
その他					134	165	89	56	72	50	62	64
合計					582	693	478	189	280	165	234	259

### 平成 24 年度活動について

石巻医療圏 健康・生活復興協議会（以後 RCI）の自立サポートとしてのソーシャル活動を主な活動として行った。内容としては、RCI の在宅被災地世帯へのニーズ把握調査（1期・2期）の 838 件を対応した。特徴としては、2期の援助対象者の多くは、災害以前からあったであろう問題が表面化・深刻化してきていることがあげられる。1期・2期では時間の経過、地域が異なる為津波の被害状況が異なることから同じ石巻市内であっても地域格差があり、必要なソーシャルワーク援助の内容にも差が要因のひとつであると推測できる。また、既存の社会資源で対応できない援助内容も多く、対象者の拒否により介入自体が困難さも感じている。

仮設住宅支援については、他職種でのチームアプローチでの介入依頼が増えた。仮設住宅の入居者の抱えている問題は表面化されにくく、それにより対応時には複雑・深刻化している状況であることが多かった。専門職（保健師・看護師・作業療法士・仮設住宅見守り支援員等）のそれぞれの専門性をもち、支援目標や課題を共有しながら、役割分担を行う機能が必要であると再確認できた。

外部との連携では、「石巻医療圏の MSW ネットワーク」の活動の一つとして事例検討会を石巻市内の MSW と連携し企画を立ち上げた。生活課題や石巻市の社会資源等の連携など様々な視点を踏まえながら、事例検討を通じ、技術の向上等の成果を見いだせるよう継続予定である。

震災後 2 年を経過し、様々な生活課題が複雑に多様化してきている。生活復興することが容易にできないでいる方々への支援を、石巻市の行政や多くの専門職団体との連携しながらエンパワーメントできるような支援をしていくことが課題である。

### \*\*\* 3. 現地感想文 \*\*\*

\*\*\* 4/25 久保木 美由紀 (現地担当)

昨日は風と雨が強く、きれいに咲いていた日和山の桜が散ってしまいました。  
石巻も暖かくなってきています。



雄勝・荒浜海岸

— 現地石巻 photo —



日和山から見た1日中北上川と中瀬

— 現地石巻 photo —

## \*\*\* 4. 災害対策委員会からのお知らせ \*\*\*

### 【1. 現地職員急募状況】

現在、応募者と調整中

### 【2. 協力員募集】

#### \*\*\* 現 地

現在、1日あたり上限2,3名で募集しております。

中3日以上、なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策委員会までお気軽にご相談ください。

**但し、初回参加の方は活動日数を3日以上でご参加お願い致します。**

今後、活動に参加される方で初回参加の方には、簡単な資料を郵送致します。  
ホームページに活動カレンダーを掲載しておりますのでご覧下さい。

#### \*\*\* 事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが1~2ヶ月に1回でも構いません。

ご協力をお願い致します。

### 【3. 災害対策委員会】

5月12日 第1回災害対策委員会会議が開催されました。

## 【4.書籍販売】

全国のMSWでバトンをつないだ当協会の活動の軌跡第2弾

### 『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンII』

発売開始となりました。A5版フルカラー141頁 定価1,000円(税込・送料別)  
平成23年10月から平成24年12月までの災害対策本部、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、現地ソーシャルワーカーとの協働の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。

尚、売上金の金額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

引き続き、発災から平成23年9月30日までの活動記録『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトンI』の販売も行っています。

\*\*\* 注文用紙はホームページからダウンロードできます。

[http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=45II](http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45II)  
IIをご注文の場合、注文用紙のIをIIに訂正してくださるようお願いいたします。

## 【5.facebook】



facebookでも情報をお伝えしています。  
現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

\*\*\* URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

## 【6.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。YouTubeにアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



\*\*\* URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

## \*\*\* 5. 事務所感想文 \*\*\*

\*\*\* 5/22 金子 小夜子 (災害対策委員会事務所)

2013年も半年が過ぎようとしています。5月16日～18日に大阪大会が開催されました。多くの MSW の方々が参加されたそうです。災害支援にも参加して下さることを願います。

### <編集後記>

春の心地よい暖かさも、初夏を思わせる陽気になってきました。現地年報から皆さんの活動実績の蓄積を知ることができました。支援は新たな局面を迎え、現地から新しい事業や体制についてもご報告いただいています。『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ』もぜひ購入したいと思います。

(編集担当 群馬県 老年病研究所附属病院ソーシャルワーカー一同)

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース  
平成 25 年 5 月 24 日 第 3 卷 3 号  
作 成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会



上毛カルタ:◎ころ(心)の燈台 内村鑑三